

〔別紙③〕

11月8日(火) スクールロイヤー講話 感想

「チャンネル登録」とか「いいね」を全くしたことがないから、「自分が加害者になる」ということはどこか他人事だ、「将来、絶対に人権を守ろう」ぐらいにしか考えていませんでした。中学を卒業したら自分のスマホでSNSをしていくことになると思うと、「もう他人事ではない」ことに今日の講話で気付きました。YouTubeのコメント欄である人が意見を言うと、その意見に反論する人やアンチの人がいて、またそれに反論する人がいて…と無限ループのけなし合いをしている所をよく見ます。それを見ると「ネットが1日のいやしの時間になっていたり、落ち着けるところになっている人もいるのに、不特定多数の人を傷つけて何がしたいんだろう」と少し悲しい気持ちになります。自分はそんな風に他人を悲しくさせたくないのだから、使うときが来れば発言などは現実と同じようにしっかり考えていきます。

普段からネットをよく使っていて、誹謗・中傷の書き込みやニュースを見ると、この人たちは本当に何がしたいんだろうと思います。自分が成人になるまでの3年間、学んだことをさらに詳しく、深く知っていこうと思いました。個人情報だけでなく、友だちや家族の分まで守れるようにしていこうと思いました。

普段 YouTube やインスタグラムを使っているので、今日のお話で「確かにそうだな」と共感する部分や「こういうのに気を付けないと」と考えながら聞くことができました。気付いていないだけで犯罪は身近にあること、自分が加害者になってしまうこともあることを考えたとき、すごく不安になりました。今もできるだけコメントをしないようにしたり、「いいね」も少し考えてからするようにしたりしていますが、これからも気を付けてトラブルに巻き込まれないように対策をします。

私の好きな YouTuber のライブで、開始時刻が間違えてお知らせされていて、そのことに対してチャットで「嘘つき」という書き込みがされていたことに驚きました。間違いは誰にでもあることなのに、なぜそうした表現をしてしまうのでしょうか。もしかしたらその人は今、心に不安なことがある状況なのかも知れません。でもそんな心のはけ口にネットを使ってはいけません。その書き込みに対しては、他のファンが「ん？どした？今日荒れてるね」とやんわりなだめていました。この「やんわりなだめる」という心の余裕を持ってネットを使える人に私はなりたいです。

私は高校生になってからスマホを手にする予定だったのですが、受験会場に行くために、つい最近スマホを渡されました。授業などの機会でフェイクニュースのこと、契約時の危険のこと、誹謗中傷のこと等を教えていただいたのですが、いざSNSに接すると、どれが嘘でどれが本当なのかも分からず、スマホから来た通知は全て正しい、安全なものだとすら感じてしまいます。だから今回、改めて学び直して少し安心しました。一人だと危険に気付かなかつたりするので、今は親から見て何をしているのか分かるように使っていこうと思いました。

日常をふり返ったときに、ネット上で口調の強い人が多く、自分の意見が正しいという人たちのぶつかり合いが多い気がします。また、誹謗中傷を注意する勢力がネット上に出てくると、誹謗中傷している人にさらに火がついてしまう感じがします。このようなことが増えると、インターネットの制限が増え、まだまだ発展途上のインターネットの可能性が閉ざされてしまわないか不安です。

僕は小学校の時にあるゲームにはまり、最初は1500円ぐらいだった課金が合計6万円ぐらいになってしまったことがありました。そんなことを思い出しながら今日の講話を聞いていました。僕はネットでいろいろな人と絡んでいて、特に性別や年齢などは疑っていませんでしたが、少し気にしてみます。今回の話でやっぱり気をつけないと思ったのは、成人が18歳となった今、消費者トラブルに巻き込まれることが増えるかもしれないということです。この講話を忘れず、日々を過ごしたいです。

